

三田文学会会員の皆様へ

文学座では3月14日～3月26日まで、文学座3月アトリエの会『挿話(エピソード)～A Tropical Fantasy～』(作：加藤道夫、演出：的早孝起)を上演致します。作者・加藤道夫が第二次世界大戦に従軍していた時の実体験を基に描いた、遠い南の果てにある架空の島「ヤペロ島」で起きる不思議な物語です。

カミュやミュッセの翻訳、ジャン・ジロドゥ研究や演劇評論などでも知られた作家・加藤道夫は慶應義塾大学英吉利文学科に在学中に芥川比呂志、鳴海弘(鳴海四郎)、鬼頭哲人らと研究劇団「新演劇研究会」を結成しました。1944年太平洋戦争に陸軍省通訳官としてマニラやニューギニアへ赴任、マラリアと栄養失調により死線をさまよいました。

1946年日本に帰国し、最初の長編戯曲となる「なよたけ」を雑誌『三田文学』に連載、後年、第一回水上瀧太郎賞(三田文学賞)を受賞しています。1947年に「新演劇研究会」を劇団「麦の会」と改称、芥川比呂志、長岡輝子、荒木道子、島田安行らと共に再出発。1948年に『三田文学』にニューギニアでの体験を綴った回想評論「死について」を発表、同誌第5集に戯曲「挿話(エピソード)」が掲載されました。1949年『挿話』が文学座により上演、この上演を機に「麦の会」は文学座に合流、加藤は文学座の座員となりました。またその年に開校した文学座附属演劇研究所で教鞭をとり、その演劇に対する理想的姿勢や人柄に惹かれた若い研究生たちに強い影響を与えたようです。その一人だった川辺久造が、俳優生活の最後にどうしてもやりたかった作品が『挿話』です。2016年6月《トライ・リーディング》と銘打ち、「アクション」を交えた朗読劇として上演しました。その際に演出を務めた的早孝起が企画、演出致します。的早孝起は2021年12月アトリエの会『Hello～ハロルド・ピンター作品6選～』でアトリエデビューを飾った新鋭です。

74年ぶりの再演となる間にも、絶え間なく世界の至る所で繰り返される戦争。加藤道夫が見た戦争を、時を越え再構築、文学座アトリエに幻想的な島を生み出します。

お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

文学座3月アトリエの会

『挿話(エピソード)～A Tropical Fantasy～』

作：加藤道夫

演出：的早孝起

2023年3月14日(火)～26日(日)

信濃町・文学座アトリエ

公演 HP

<http://www.bungakuza.com/episode/index.html>

【出演】

中村彰男、清水明彦、沢田冬樹、横山祥二、山森大輔、相川春樹、小石川桃子

【スタッフ】

美術／乗峯雅寛、照明／賀澤礼子、音楽／芳垣安洋、高良久美子、音響／丸田裕也、衣裳／宮本宣子、舞台監督／加瀬幸恵、制作／梶原 優、最首志麻子、谷口邦明

タイムスケジュール

3月14日(火)19:00

3月15日(水)14:00

3月16日(木)14:00／19:00

3月17日(金)休演日

3月18日(土)14:00

3月19日(日)14:00★終演後アフタートーク

3月20日(月)19:00

3月21日(火祝)14:00★終演後アフタートーク

3月22日(水)14:00／19:00

3月23日(木)14:00★終演後アフタートーク

3月24日(金)14:00／19:00

3月25日(土)14:00

3月26日(日)14:00

★3/19(日) 武田一義(漫画家)×的早孝起(演出)×野口恵里花(読売新聞記者)

※武田一義(漫画家)は『ペリリユー 楽園のゲルニカ』の作者

★3/21(火・祝) 中村彰男×沢田冬樹×横山祥二×的早孝起

★3/23(木) 清水明彦×山森大輔×相川春樹×小石川桃子

◆チケット料金 (全席指定・消費税込)

前売 4,600 円

当日 4,800 円

ユースチケット(25歳以下)2,700 円

※ユースチケットはご観劇当日、年齢を証明するものが必要となります。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※車イスでご来場のお客様は、必ず文学座までご連絡下さい。

◆お申込み方法

【関係者予約フォーム】

<https://forms.gle/5txZhiEweUkd5mZE8>

※予約フォームに扱い者欄がございます。「その他」の欄にチェックし「三田文学会会員」とご記入ください。

※各公演日前日の18時までこちらのフォームで予約可能です。

【電話でのお申込み】 チケット専用ダイヤル0120-481034（11:00～17:30/
日祝除）